

ひきセン通信



もくじ

- 1 明日は明日の風が吹く、のだろうか (M男)
- 2 自己対話「もとひきこもりの負い目」
(御手元龍馬)
- 旅に出る (M男)
- Information

ひきセン通信は新潟市ひきこもり相談支援センターの利用者さんの声で作っていく不定期刊行物です。

発行 新潟市ひきこもり相談支援センター
TEL 025-278-8585 (相談・予約専用ダイヤル)

明日は明日の風が吹く、のだろうか

「明日は明日の風が吹く」という言葉があります。

『大辞林 第三版』¹⁾では、このように解説しています。

明日になればまた状況も変わってくる。くよくよ先のことを思いわずらっても仕方がないと楽観的にいう語。

『Yahoo! JAPAN 知恵袋』²⁾によると、マーガレット・ミッチェルの「風と共に去りぬ」の中の名セリフ「Tomorrow is another day」の訳だそうです。

私は、大切な人からこの言葉をもらったことがあります。

一方、アナウンサーの遠藤麻理さんは次のように書いています。

『ナビゲーターメッセージ 2004/12/03』³⁾

明日は明日の風なんか吹かない

私達が今日を頑張るのは、明日があるから…ではないでしょうか。

今日が明日につながる事を知っているからではないでしょうか。

明日の風には、今日の風が混じっている。

今日の風には昨日の風が混じっているのです。

「現在」は、歴史の上に立っている。

生まれたての赤ちゃんにだって、お父さんお母さん、そのまた祖先の血が混じっている。

まるっきりゼロから始まる事なんて、もしかしたら、この世にはないのかもしれませんが。

(以下、略)

この言葉には、さまざまな解釈あろうかと思えます。

困難にぶつかったとき、私は自分にこう言い聞かせることにしています。

『明日は明日の風なんか吹かない』

インターネットでの解説を引用しました。

この言葉の意味を考えるきっかけとなりますように。

(M男)

【引用】¹⁾ <http://kotobank.jp/> ²⁾ http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1210005467

³⁾ <http://www.fmport.com/navigator/detail.html?key=MariEndo&date=2004/12/03>

自己対話「もとひきこもりの負い目」

もとひきこもりのレッテルは一生ついて回るのだろうかと考えることがある。これは私にとっての負債なのだ。親交を深めたいと願う相手に対して、意図的に過去を隠しておくことは、不誠実な気がする。

「言う必要がないことは言わなくてもいい」と助言をもらったこともある。分からないでもないが消化するには不十分だった。では必要性の境目はどこだろうと考えて、思考がぐるぐるした。

例えばパートナーに対して、返せるアテのない債務を隠しておくことは不誠実だろうし、逆に初対面の相手に自分の負債の話をするのは不適切だろう。要するに自分の過去を話しておきたい、境目を越えた相手が私にはいるのだ。よくできたと思う。花まるをあげたい。まる。

こもり終えて2年が経って、それでも今なお、私は他者に対して「僕のことを知って、そして受け入れてほしい」と願うことがあるようだ。でも、言いたい、伝えたいというのは私のエゴだ。不誠実だとかは、エゴを正当化するための言い訳だろう。

きっとまだまだ自信が持てないのだ。「過去に多額の借金がありましたが、今はもう返済しきりましたよ」であれば、清々しくも言えるのだろうか、言う必要性をわざわざ考えることも減りそうだ。

今年で30歳になる。家族や親せきになら「あんときゃ悪かったね」と伝えることもできる。「終わっちゃうとどうってことないね」と兄弟に言われ「まあね」と返すくらいである。大変だったのはお互い様だ。

そのような理解者もいるわけで、だから一生懸命とらわれたりせずに、返済あるいは消化していきたいし、そうできると信じている。あの頃と較べて、見える景色も考え方も、所属先もずいぶん増えた。笑い方も思い出したし、毎日なんとか笑って暮らすこともでき続けている。やるじゃないか。これも、まる。

ただ、ふと思う。笑っているだけじゃ物足りない。

そして困ったことに、なにをしたら返済になるのかがわかっていない。さんかく。

(御手元龍馬)

旅に出る

【旅に出る】(新潟弁で)村や町を出て他の土地に行くこと

拝啓 皆さまへ

いま、旅に出ています

「萬代橋」のこと、思い出さないよ
東京湾のレインボーブリッジを目指してやる

「古町」のこと、思い出さないよ
浅草の仲見世通りを歩いてやる

みかづきの「イタリアン」のこと、思い出さないよ
原宿でパンケーキを食べてやる

大阪屋の「万代太鼓」のこと、思い出さないよ
虎屋のようかんを食べてやる

セイショーの「桃太郎」のこと、思い出さないよ
東京ソラマチの白玉金時を食べてやる

「越後線」のこと、思い出さないよ
山手線に乗ってやる

「日本海」や「佐渡」なんか恋しくないんだから
ちょっと高いところに登って富士山を眺めてやる

ケガや病気が良くなったらやるよ

それから、テレ東の番組を観まくってやる
MXもなかなか良いぞ

でも、いまは旅に出ているところ

また戻ったら、おかえり、と言ってくれる人が1人でもいると嬉しいです

敬具
(M男)



Information

平成26年度第1回 家族会のご案内

日にち 平成26年9月27日(土)
時間 14:30~17:00 (開場14:00)
場所 万代市民会館405号室(和室)
内容 ケースインタビュー
交流会(フリータイム)
定員 先着30名
参加費 無料
※会館の駐車スペースはご利用いただけません。

問合せ・申込み先
新潟市ひきこもり相談支援センター
TEL 025-278-8585
新潟市中央区東万代町9-1 新潟市万代市民会館5階